

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第20期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	リスクモンスター株式会社
【英訳名】	Riskmonster.com
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤本 太一
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目16番5号 R M Gビル
【電話番号】	03 - 6214 - 0331
【事務連絡者氏名】	財務経理部部长 吉田 麻紀
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋二丁目16番5号 R M Gビル
【電話番号】	03 - 6214 - 0331
【事務連絡者氏名】	財務経理部部长 吉田 麻紀
【縦覧に供する場所】	リスクモンスター株式会社大阪支社 （大阪市中央区本町二丁目6番8号） リスクモンスター株式会社名古屋営業所 （名古屋市中村区名駅四丁目26番13号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第2四半期 連結累計期間	第20期 第2四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 9月30日	自2019年 4月1日 至2019年 9月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (千円)	1,471,991	1,585,312	2,962,616
経常利益 (千円)	255,189	323,696	467,197
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	156,750	208,148	280,818
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	265,347	316,450	317,053
純資産額 (千円)	4,523,382	4,794,633	4,541,180
総資産額 (千円)	5,501,580	5,728,289	5,513,893
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	40.60	54.38	72.62
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	40.50	-	72.53
自己資本比率 (%)	81.0	82.3	81.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	315,222	259,599	738,703
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	122,507	200,912	255,171
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	129,556	142,502	195,150
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,875,104	2,013,846	2,099,943

回次	第19期 第2四半期 連結会計期間	第20期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年 7月1日 至2018年 9月30日	自2019年 7月1日 至2019年 9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	28.38	33.35

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第20期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に堅調に推移しているものの、海外経済の減速傾向及び労働需給のひっ迫に伴う人件費上昇や人手不足による供給制約を背景に、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、2016年4月に制定した2016年度から2020年度までの長期ビジョン「Rismon G-20」、その達成に向けたマイルストーンである2019年4月にスタートした2ヶ年計画「第6次中期経営計画（2019～2020年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・自己株式の取得（4月）
- ・商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」スマートフォンアプリ（iOS版）提供開始（4月）
- ・テクマトリックス株式会社と共同で人工知能（AI）活用によるRM格付精度向上の実証実験実施を公表（4月）
- ・業務拡大のため大阪支社を移転（5月）
- ・格付ロジック改定（定性項目の評価にAIを導入し、ビッグデータの分析をさらに多面化）（6月）
- ・公開研修講師陣が出演する動画eラーニングコースを提供開始（6月）
- ・株式会社TKCと大学向けWeb学習システム「ビジネス実務与信管理学習ツール」を共同開発（7月）
- ・譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施（7月）
- ・株主優待制度の拡充を決定（8月）
- ・自己株式の消却（9月）
- ・当第2四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
  - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（4月）
  - 「仕事・会社に対する満足度」調査結果（5月）
  - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（6月）
  - 「金持ち企業ランキング」調査結果（7月）
  - 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査結果（7月）
  - 「100年後も生き残ると思う平成生まれの日本企業」調査結果（8月）
  - 「隣の芝生（企業）は青い」調査結果（9月）
- ・当第2四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
  - 「非鉄金属製造業（2019年改訂版）」（4月）
  - 「繊維・衣服等卸売業」（5月）
  - 「情報サービス業」（6月）
  - 「総合工事業」（7月）
  - 「化学工業」（8月）
  - 「不動産賃貸・管理業」（9月）

#### <連結業績について>

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高(千円)	1,471,991	100.0	1,585,312	100.0	107.7
営業利益(千円)	250,205	17.0	292,006	18.4	116.7
経常利益(千円)	255,189	17.3	323,696	20.4	126.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	156,750	10.6	208,148	13.1	132.8

	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
会員数合計(注)	11,622	12,509	887

(注) 会員数は登録されているID数

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部あります。

(売上高)

主力の与信管理サービス、BPOサービス、その他サービスの教育関連事業及び中国におけるサービス等の売上高が順調に増加したため、連結の売上高は1,585,312千円(前年同期比107.7%)となりました。

(利益)

利益率の高いサービスの売上高が増加したこと等により、営業利益は292,006千円(前年同期比116.7%)、経常利益は323,696千円(前年同期比126.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は208,148千円(前年同期比132.8%)となりました。

(会員数合計)

会員数は12,509会員と順調に増加いたしました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
A S P・クラウドサービス(千円)	745,807	790,075	105.9
ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス(千円)	165,155	171,113	103.6
その他(千円)	47,683	78,292	164.2
コンサルティングサービス売上高合計(千円)	212,839	249,406	117.2
売上高合計(千円)	958,647	1,039,481	108.4
セグメント利益(千円)	207,382	228,183	110.0

会員数	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス(注)	6,050	6,377	327

(注) サービス相互提携を行う会員を含む

当第2四半期連結累計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は1,039,481千円(前年同期比108.4%)、セグメント利益は228,183千円(前年同期比110.0%)となりました。

利益率の高いA S P・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が順調だったことに伴い、790,075千円(前年同期比105.9%)となりました。

コンサルティングサービス売上高合計は、お客様独自の与信管理システムを構築するクラウドサービスや、IPOに向けた反社・与信管理体制の構築支援が好調で、その他の売上高が78,292千円(前年同期比164.2%)と増加し、249,406千円(前年同期比117.2%)となりました。

セグメント利益につきましても、売上高が増加したこと等により前年同期を上回りました。

イ) ビジネスポータルサイト事業(グループウェアサービス等)について

ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
	A S P・クラウドサービス(千円)	255,301	249,862	97.9
	その他(千円)	24,275	18,039	74.3
売上高合計(千円)		279,577	267,901	95.8
セグメント利益(千円)		87,538	76,863	87.8

会員数	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等)(注)	3,088 (134,392)	3,216 (142,142)	128 (7,750)

(注) ( )は外数でユーザー数

当第2四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト事業(グループウェアサービス等)の売上高の合計は267,901千円(前年同期比95.8%)、セグメント利益は76,863千円(前年同期比87.8%)となりました。

会員数及びユーザー数が増加し定額の利用料が積み上がったものの、ディスク容量の利用が減少したため、売上高が減少いたしました。

セグメント利益につきましては、利益率が高いディスク容量の利用が減少したことや、サービスシステムのパブリッククラウド(注)への移行に伴う費用を計上したこと等により、前年同期を下回りました。

(注) クラウドプロバイダー等が、広く一般のユーザーや企業向けにクラウドコンピューティング環境をインターネット経由で提供するサービス

ウ) B P Oサービス事業について

B P Oサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
B P Oサービス売上高合計(千円)		156,729	174,585	111.4
セグメント損失(千円)		24,335	16,274	-

当第2四半期連結累計期間のB P Oサービス事業の売上高は174,585千円(前年同期比111.4%)、セグメント損失は16,274千円(前年同期はセグメント損失24,335千円)となりました。

主力のデジタルデータ化等B P Oサービスの売上高が堅調に増加したため、損失額が減少いたしました。

エ) その他サービスについて

「教育関連事業」等を含むその他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計(千円)		150,846	188,821	125.2
セグメント利益(千円)		16,233	40,920	252.1

会員数	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
その他サービス(注)	2,484	2,916	432

(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員  
 なお、当第2四半期連結会計期間末は、「サイバックスUniv.」に登録している従量制会員も含めております。

当第2四半期連結累計期間のその他サービスの売上高は188,821千円(前年同期比125.2%)、セグメント利益は40,920千円(前年同期比252.1%)となりました。

当第2四半期連結累計期間の教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が2,327会員に増加し定額の利用料が積み上がったことや、その他の売上高が増加したこと等により、売上高は好調に推移しました。

また、当社グループ商材の海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する与信管理及びグループウェアサービス等の会員数の合計は、589会員となりました。

セグメント利益につきましては、売上高増加が寄与し、前年同期を大きく上回りました。

なお、当社グループのセグメントを、法人会員向けビジネスとその他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

#### 1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア)与信管理サービス事業、イ)ビジネスポータルサイト事業及びエ)その他サービスのうちの教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

事業別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
与信管理サービス(千円)	958,647	1,039,481	108.4
ビジネスポータルサイト(千円)	279,577	267,901	95.8
教育関連(千円)	80,037	98,032	122.5
法人会員向けビジネス売上高合計(千円)	1,318,261	1,405,416	106.6
与信管理サービス(千円)	207,382	228,183	110.0
ビジネスポータルサイト(千円)	87,538	76,863	87.8
教育関連(千円)	16,393	33,323	203.3
法人会員向けビジネス利益合計(千円)	311,313	338,371	108.7

会員数	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス	6,050	6,377	327
ビジネスポータルサイト(注)	3,088 (134,392)	3,216 (142,142)	128 (7,750)
教育関連	1,864	2,327	463
法人会員向けビジネス会員数合計	11,002	11,920	918

(注) ( )は外数でユーザー数

## 2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、ウ) BPOサービス事業及びエ) その他サービスのうちのその他であります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数の合計は、589会員となりました。

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計(千円)	227,537	265,373	116.6
その他ビジネス損失(千円)	24,495	8,677	-

## (2) 財政状態の状況

		前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額
資産合計(千円)	流動資産(千円)	2,649,461	2,653,664	4,203
	固定資産(千円)	2,864,431	3,074,625	210,193
資産合計(千円)		5,513,893	5,728,289	214,396
負債合計(千円)	流動負債(千円)	555,769	481,928	73,840
	固定負債(千円)	416,943	451,727	34,784
負債合計(千円)		972,712	933,656	39,056
純資産(千円)		4,541,180	4,794,633	253,452
負債純資産合計(千円)		5,513,893	5,728,289	214,396

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ4,203千円増加し、2,653,664千円となりました。固定資産は前連結会計年度末と比べ210,193千円増加し、3,074,625千円となりました。これは主に、大阪支社の移転に伴う有形固定資産の増加、無形固定資産の増加や投資有価証券の時価評価等によるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ214,396千円増加し、5,728,289千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ73,840千円減少し481,928千円となりました。これは主に、未払金の減少や税金の支払により未払法人税等が減少したことによるものです。固定負債は前連結会計年度末と比べ34,784千円増加し451,727千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ39,056千円減少し、933,656千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加や投資有価証券の時価評価等により前連結会計年度末と比べ253,452千円増加し、4,794,633千円となりました。また、自己資本比率は82.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	315,222	259,599	82.4
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	122,507	200,912	164.0
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	129,556	142,502	110.0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)(千円)	62,358	86,097	-
現金及び現金同等物の四半期末残高(千円)	1,875,104	2,013,846	107.4

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ86,097千円減少し、2,013,846千円(前年同期比107.4%)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、259,599千円(前年同期比82.4%)となりました。増加要因として主に税金等調整前四半期純利益が320,786千円、減価償却費が160,607千円であったこと、減少要因として主に売上債権の増加額が62,849千円、未払金の減少額が38,756千円、法人税等の支払額が96,729千円であったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、200,912千円(前年同期比164.0%)となりました。減少要因として、有形固定資産の取得による支出が59,954千円、無形固定資産の取得による支出が182,022千円であったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、142,502千円(前年同期比110.0%)となりました。減少要因として、自己株式の取得による支出が46,424千円、配当金の支払額が65,505千円、長期借入金の返済による支出が30,080千円であったこと等によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。



### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,231,600
計	15,231,600

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,873,500	3,873,500	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	3,873,500	3,873,500	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年9月30日 (注)	50,000	3,873,500	-	1,155,993	-	718,844

(注)自己株式の消却による減少であります。

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社東京商工リサーチ	東京都千代田区大手町1-3-1	325,500	8.46
藤本 太一	東京都千代田区	316,300	8.22
株式会社日本M&Aセンター	東京都千代田区丸の内1-8-2	269,500	7.00
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋1-4-10	217,100	5.64
金田 真吾	大阪府吹田市	130,000	3.37
株式会社エヌアイディ	千葉県香取市玉造3-1-5	120,000	3.11
株式会社オービックビジネスコン サルタント	東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32階	100,000	2.59
江本 晋	東京都墨田区	97,700	2.54
テクマトリックス株式会社	東京都港区三田3-11-24	88,800	2.30
菅野 健一	東京都小平市	75,300	1.95
計	-	1,740,200	45.23

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 25,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,846,200	38,462	-
単元未満株式	普通株式 1,400	-	-
発行済株式総数	3,873,500	-	-
総株主の議決権	-	38,462	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
リスクモンスター 株式会社	東京都中央区日本橋 2-16-5 RMGビル	25,900	-	25,900	0.67
計	-	25,900	-	25,900	0.67

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,101,131	2,115,044
受取手形及び売掛金	395,785	458,361
有価証券	99,999	-
原材料及び貯蔵品	11,904	7,576
その他	41,403	73,484
貸倒引当金	762	801
流動資産合計	2,649,461	2,653,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	553,218	565,444
減価償却累計額	96,933	103,710
建物及び構築物(純額)	456,284	461,733
工具、器具及び備品	444,088	444,297
減価償却累計額	362,043	345,402
工具、器具及び備品(純額)	82,044	98,895
土地	568,352	568,352
リース資産	4,860	4,713
減価償却累計額	4,050	65
リース資産(純額)	810	4,648
建設仮勘定	-	6,096
有形固定資産合計	1,107,492	1,139,726
無形固定資産		
ソフトウェア	587,905	601,460
その他	44,747	66,526
無形固定資産合計	632,652	667,986
投資その他の資産		
投資有価証券	1,064,262	1,195,908
その他	60,157	71,144
貸倒引当金	133	140
投資その他の資産合計	1,124,286	1,266,912
固定資産合計	2,864,431	3,074,625
資産合計	5,513,893	5,728,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	266,146	209,627
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	108,586	92,798
賞与引当金	515	796
その他	120,361	118,546
流動負債合計	555,769	481,928
固定負債		
長期借入金	275,800	245,720
退職給付に係る負債	6,974	5,122
その他の引当金	9,400	11,237
その他	124,767	189,648
固定負債合計	416,943	451,727
負債合計	972,712	933,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	989,085	920,435
利益剰余金	2,058,932	2,201,707
自己株式	104,830	33,804
株主資本合計	4,099,180	4,244,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,170	459,259
為替換算調整勘定	12,186	10,136
その他の包括利益累計額合計	367,357	469,396
非支配株主持分	74,642	80,905
純資産合計	4,541,180	4,794,633
負債純資産合計	5,513,893	5,728,289

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)
売上高	1,471,991	1,585,312
売上原価	641,258	701,441
売上総利益	830,732	883,871
販売費及び一般管理費	580,527	591,865
営業利益	250,205	292,006
営業外収益		
受取利息	70	306
受取配当金	6,519	12,820
投資事業組合運用益	630	19,753
その他	261	937
営業外収益合計	7,481	33,819
営業外費用		
支払利息	1,992	1,709
自己株式取得費用	443	418
為替差損	61	-
営業外費用合計	2,497	2,128
経常利益	255,189	323,696
特別利益		
投資有価証券売却益	-	183
その他	-	34
特別利益合計	-	218
特別損失		
固定資産除却損	643	352
投資有価証券売却損	-	1,198
事務所移転費用	6,944	1,576
特別損失合計	7,588	3,127
税金等調整前四半期純利益	247,600	320,786
法人税、住民税及び事業税	86,730	84,331
法人税等調整額	469	21,482
法人税等合計	86,261	105,813
四半期純利益	161,338	214,973
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,588	6,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,750	208,148

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	161,338	214,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,685	104,173
為替換算調整勘定	677	2,697
その他の包括利益合計	104,008	101,476
四半期包括利益	265,347	316,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,701	310,187
非支配株主に係る四半期包括利益	4,646	6,262

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	247,600	320,786
減価償却費	151,209	160,607
差入保証金償却額	586	3,931
貸倒引当金の増減額(は減少)	59	45
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	308	1,852
受取利息及び受取配当金	6,589	13,127
支払利息	1,992	1,709
為替差損益(は益)	61	487
自己株式取得費用	443	418
投資有価証券売却損益(は益)	-	1,015
投資事業組合運用損益(は益)	630	19,753
固定資産除却損	643	352
移転費用	6,944	1,576
売上債権の増減額(は増加)	67,669	62,849
たな卸資産の増減額(は増加)	582	4,328
未払金の増減額(は減少)	3,518	38,756
その他	46,835	8,414
小計	378,741	349,530
利息及び配当金の受取額	5,585	11,124
利息の支払額	1,890	1,590
法人税等の支払額	60,269	96,729
移転費用の支払額	6,944	2,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	315,222	259,599
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	33,597	59,954
無形固定資産の取得による支出	120,927	182,022
投資有価証券の取得による支出	-	113,284
投資有価証券の売却による収入	-	112,918
敷金の回収による収入	12,355	4,464
定期預金の預入による支出	101,166	101,198
定期預金の払戻による収入	101,145	101,188
その他	19,682	36,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	122,507	200,912
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	30,080	30,080
リース債務の返済による支出	420	492
自己株式の処分による収入	13,590	-
自己株式の取得による支出	54,644	46,424
配当金の支払額	58,002	65,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,556	142,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	799	2,281
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	62,358	86,097
現金及び現金同等物の期首残高	1,812,746	2,099,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,875,104	2,013,846



【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
従業員給与	193,692千円	204,344千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	1,876,271千円	2,115,044千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	101,166	101,198
取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資(有価証券)	99,999	-
現金及び現金同等物	1,875,104	2,013,846

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月23日 取締役会	普通株式	58,354千円	15.0円	2018年3月31日	2018年6月11日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月22日 取締役会	普通株式	65,373千円	17.0円	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	957,482	279,076	136,740	1,373,299	98,691	1,471,991	-	1,471,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,165	500	19,988	21,653	52,154	73,808	73,808	-
計	958,647	279,577	156,729	1,394,953	150,846	1,545,799	73,808	1,471,991
セグメント利益又は 損失( )	207,382	87,538	24,335	270,584	16,233	286,818	36,613	250,205

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおりま  
 ず。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全  
 社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,037,827	267,292	152,737	1,457,857	127,455	1,585,312	-	1,585,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,654	609	21,848	24,111	61,365	85,477	85,477	-
計	1,039,481	267,901	174,585	1,481,969	188,821	1,670,790	85,477	1,585,312
セグメント利益又は 損失( )	228,183	76,863	16,274	288,772	40,920	329,693	37,687	292,006

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおりま  
 ず。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全  
 社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	40円60銭	54円38銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	156,750	208,148
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	156,750	208,148
普通株式の期中平均株式数(株)	3,860,502	3,827,583
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	40円50銭	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	9,901	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

リスクモンスター株式会社

取締役会 御中

### 八重洲監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 齋藤 勉 印

業務執行社員 公認会計士 滝澤 直樹 印

業務執行社員 公認会計士 山田 英二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリスクモンスター株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リスクモンスター株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。